

プログラム名(テーマ) 自然と共存、友と協力

目指す児童・生徒像 自然の尊さ、美しさを知り、自然を愛護する心を育てる。また、仲間と助け合いながら生活することの大切さを学ぶ。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			学校集合・出発式(8:00) バス移動(8:30～) 地藏岳登山(山頂で昼食)(10:30～)	12:00 弁当	地藏岳登山(下山) 覚満淵散策(13:30) 「国立赤城青少年交流の家」到着(15:00) 入所式(15:30) 夕べのつどい(17:00)	17:30 バイキング	星空観察(18:30～20:15) 入浴(20:45～) 消灯(10:00)	
			〈登山のめあて〉 自然をよく観察し、自然に親しみながら登る。友だちと声を掛け合いながら助け合って登る。 ※クラスごとに登山。事前に登山についての注意点を指導しておく(服装、歩き方、有害動植物などの注意)。		※覚満淵では、豊かな自然に目を向け、ゆったりした気持ちで自然に親しむよう、時間をかけて散策する。 ※施設でのきまりや、班で行動する際に気をつけることを事前に指導する。		〈星空観察のめあて〉 自然の中で星を観察することにより、自分が自然の中の一人であることを実感する。 また、自分の住んでいる地域より星が鮮明に見えるため、星座の形や、また、星の動きをよく観察する。 ※夜に歩く時の注意点、服装などを事前指導。	
2 日 目	起床洗面(6:00) 着替え、清掃 朝のつどい(7:10) 朝食(7:30)	7:30 バイキング	野外炊事(カレー作り)(9:00～12:30)	12:30 カレー	AAP(13:00)  AAPを終えて、各班でのふりかえり(16:30)	17:30 バイキング	キャンプファイヤー(18:30) 入浴(20:30) 消灯(21:30)	
	※時間を見ながら行動できるようにする。		〈野外炊事のめあて〉 仲間と協力しながら昼食を作る。日頃できない自然の中の炊事を体験し、自然の中で食べる気持ちのよさや、自然を壊さない片づけの仕方などを理解する。 ・各班8～9人、12グループ ・費用 50,880円 ・安全に関する事前指導を行う。(服装、包丁などの調理用具の使い方、ものの運びかた等) ・片づけまでしっかり行うよう指導する。		〈AAPのめあて〉 仲間と助け合いながら活動することで協調性を学び、コミュニケーション力を高め、自己概念を向上させる。 ・各班14～15人 7グループ ・講師依頼 56,000円 ・服装、仲間を否定する言葉を絶対に言わないなど、事前指導を行う。		〈キャンプファイヤーのめあて〉 火や自然に感謝する心を育てる。 楽しんで活動する中で、仲間と協力する心を育てる。 ※林間学校最後の夜を仲間と楽しく過ごすとともに、夜話に耳を傾け、余韻ある一日の終わりになるように配慮する。 ・講師依頼 6,600円 ・中心に火があることをよく理解させて活動させる。	
3 日 目	起床・洗面(6:00) 着替え 荷物整理、清掃 朝のつどい(7:10) 朝食(7:30) 清掃(8:30)	7:30 バイキング	オリエンテーリング(9:00)	12:00 バイキング	ふりかえり(12:45) 退所式(13:45) 「国立赤城青少年交流の家」出発(14:45)  学校到着(16:15) 帰りの式 解散(16:45)			
	※2日間お世話になった感謝の気持ちを持って、来た時よりもきれいに帰るようにする。		〈オリエンテーリングのめあて〉 各班で協力して行動し、協調性を高める。 赤城の自然に親しむ。 ・各班4～5人 ・服装(長袖、長ズボン、軍手、帽子)、山での歩き方、グループが必ず一緒に行動する、地図をよく見てポイントを探すことを事前指導。		※ふりかえりでは、林間学校で学んだことを各班で話し合う。また、学んだことをこれからの生活にどのように生かしていくか考えるようにする。  ※帰りの式では、自然に親しみ、友だちと協力できた3日間であることを振り返るとともに、林間学校でお世話になった人たちや、おうちの人への感謝の気持ちを忘れないようにしたい。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。